







はっぴ〜すごろく すごろく説明書(シナリオ)

	進行役	すごろく読み手 [止まった部分を読み上げる]	トリセツ読み手 [止まった場所の赤字を説明する]
事前説明	このすごろくは認知症になった方の意思や思いをどう支えて支援していけるかを説明しているすごろくです。赤字で書いてある言葉は大事なポイントなので度説明していきます。 サイコロの目は3までです。焦らずゆっくりコマを進めていきましょう。 自分の家族や友人が認知症になった時、どう支えていけばいいかを順番に学びましょう。	(事前にすごろく盤をよく読んで準備すると良いでしょう。)	(事前にトリセツをよく読んで準備すると良いでしょう。)
 スタート	それでは今からハッピーすごろくを始めます。 コマをスタートに並べましょう。	友人に最近よく鍵や財布をなくすけど、私「 認知症 」かな? と相談される。	トリセツ P.11 の認知症部分の読み上げ
 進む		インターネットで相談窓口を調べた A 一緒に 認知症カフェ に行ってみた。	トリセツ P.11 の認知カフェ(浜松市オレンジカフェ)の読み上げ 可能であれば参加者のお住いの地域のカフェを提示してあげる。
 進む	最初の一振りで2が出たら、もう一度サイコロを振ってBかCに進みましょう。	かかりつけ医に相談した。 B 認知症専門医に相談した。 C かかりつけ医に 認知症疾患医療センター を紹介された。	トリセツ P.11 の浜松市認知症疾患医療センターの読み上げ
 進む		民生委員が相談に乗ってくれた D 地域包括支援センター への相談を勧めた。	トリセツ P.11 の地域包括支援センターの読み上げ 可能であれば参加者のお住いの地域のセンターを提示してあげる。
 全員STOP!	このマークがあるところでは全員ストップです。大事なポイントなので何度も一緒に確認しましょう。そして1コマ進みます。	友人の配偶者から「認知症が心配で介護保険サービスを利用したい」と相談があった。 意思決定支援ガイドライン のステップに沿って、本人の意思を確認することが大切なことを伝えた。	トリセツ P.7 の意思決定支援のプロセスを読み上げ 3つの支援=「はっぴ〜3つのやくそく」を読む。
	1コマ進んでまた大事なポイントです。	意思形成支援 友人にデイサービスや通所リハビリがどんな事をするところなのか説明した。好きだったことや楽しみや今のやりたいことを確認した。	トリセツ P.8 の意思形成支援とは… 本人の意思を整理表明するための支援こと 赤丸のポイントをいくつか読み上げる
 ゴール	逆走なし「あがり」です。おめでとうございます。	(共に祝福する)	(共に祝福する)
終了	このたびは、共に楽しく学ぶ時間をすごすことができ、ありがとうございました。これからも一緒に活動をひろげましょう。		